



2022年10月24日

神戸国際大学キリスト教センター通信

第68号

離れたからこそ、近い

～ハロウィンと「死者を憶える期節」～

大学オルガニスト ミリアム 伊藤 純子

街角のあちらこちらで、オレンジ色のハロウィンの飾りを目にします。ハロウィンはキリスト教とは無関係のお祭りですが、ハロウィンの日程に関しては、キリスト教の暦と関連があります。11月1日がキリスト教では「諸聖徒日」であり、その前夜がハロウィンです。キリスト教では諸聖徒日に合わせて、死者のための祈りや墓参が行われ、死者に想いを寄せる期節（教会暦上の季節の表記）を迎えます。

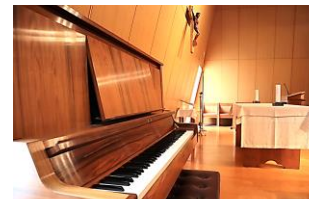
皆様にももちろん、天へお送りした大切な方がおられることと思います。その方のことを改めて想う時間を、意識して持ちましょう、そしてそれ以外の死者の方にも想いを馳せましょう、というシーズンでもあります。

天にお送りしたあの人にもこの人にも、もう実際に逢うことは叶いません。それは物凄く悲しく厳しい現実です。絶望的でもあります。しかし一方で、実際には逢っていないのにも関わらず、実際に目の前に居る人よりももっとずっと「近くに」その方が居る、という実感を覚えることはないでしょうか。

物理的な距離がいくら近くても、とてつもない距離の遠さを感じるという現実もあります。近くに居ることによって見えてくるものと、見えなくなってしまうものがあると思います。表面的なところで売り言葉に買い言葉となったり、些末なことが気になって自分の心が支配されたりすることもあります。そのような矛盾に出逢う時、人間関係は、物理的な距離ばかりでは測れない、と実感します。

コロナ禍の中、それまで当たり前のように逢っていた方々に逢えなくなりました。逢えないのですから、想像力を働かせてじっと想うことでしか関係性は築けません。離れたからこそ、その人のことが見えてくる事もあります。それはおのずと、見えないものを見ようと、耳を傾ける作業を行っているからではないでしょうか。

見えないものを見ようとするのは難しいです。しかし、一方で実は極めてシンプルなことも知れません。見えないものに心を寄せようとするのは、「祈り」に通じるものがあります。見えないものを見ようとする助けのために、神様は音楽を与えてくださったのだと思います。



このピアノは水谷博彦前理事長令夫人より昨年度に本学へ寄贈されました。

一口メモ <ピアノは打楽器・オルガンは管楽器>

見た目は「鍵盤楽器」という仲間ですが、構造上は全く異なるグループに所属します。ピアノは、ハンマーが弦を叩くことによって音が鳴り、オルガンはパイプに笛が通ることによって音が鳴ります。実際には音が生まれる瞬間を確認することはできませんが、心の目で、違いを聴き比べてみましょう。

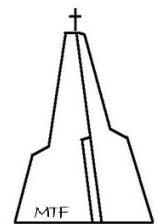


音色はこちら



ピアノ <https://youtu.be/0fXyPHtA2O0>

オルガン <https://youtu.be/lpzTLbJlGLY>



神戸国際大学
キリスト教センター
諸聖徒礼拝堂

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り（カード）日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

